

令和4（2022）年度 三重短期大学 一般選抜（法経科2部）
入学試験問題（小論文） 解答例

問題一（200字以内）

解答例

税は元々コメなどの農作物や労働、布や絹といった特産品で納めるものであった。701年の大宝律令で、収穫した稲、都での労働、布や海産物を収める租庸調の仕組みができ、室町時代には関所での通行税、江戸時代には商工業者に運上金や冥加金が課せられた。近代に入ると年貢のように天候や収穫によってばらつきが出ないよう貨幣で税を納めさせるようになり、第二次世界大戦後は日本国憲法で納税が国民の三大義務の一つとされた。
(199字)

問題二（400字以内）

解答例1

現在の日本の国債発行残高は先進諸国では最悪の水準となっている。著者は、このような日本の財政の現状に危機感を抱いているが、財政は家計とは異なる政府の経済活動である。それは国民生活を支えるために行われるので、国債発行を一気に縮小して歳出を切り詰めることは簡単にはできない。例えば、一昨年来の新型コロナウイルス感染症による経済停滞に対し、中小企業や飲食業を対象とした支援金、また国民一人当たり10万円の給付金が支払われたが、こうした政策はまさに国民生活を支え、経済の停滞を最小限に食い止めるためのものであり、国の借金が膨大にあるからといって行わないわけにはいかないものであった。現状では国債管理は適切に行われているのであり、日本国債の格付けもデフォルトを心配する水準ではない。したがって国民生活を犠牲にしてまで財政規律を重視しすぎるのは問題が多く、当面は国債管理を適切に行うしかないと考える。(393字)

解答例2

日本の財政は危機的状況にある。国債発行残高は先進国では最悪の水準に達している。現状では国債管理は適切に行われ、深刻な影響が出ているわけではないが、今後もそうした状況が続くとは限らない。こうした借金まみれの現状に加え、新型コロナウイルス対策でさらに借金が膨らみ、今後、どのようにして借金を返済していくのかがますます大きな課題になっている。赤字解消には歳出の削減か歳入の拡大、あるいはその両方が必要となる。歳出の削減のためには政府の無駄を省くことが重要であるし、歳入の拡大のためには安定財源である消費税のさらなる税率アップなどが考えられる。また所得税、特に金融所得課税の税率引き上げなど、まだ増税の余地はあるのではないだろうか。増税や歳出削減に手を付けず、現状のまま国債に財政支出の大部分を頼るのは不適切であり、「財政の行き詰まり」を避けるためにも、現在のような赤字財政を見直すべきであると考え。

(397字)